

～安心して暮らせるまちづくりを目指して～

千曲川の築堤事業が急ピッチで進んでいます

無堤地区の解消を着々と実施

平成18年7月水害では市内各所で浸水被害が発生し、多くの皆さんが避難されたことは記憶に新しいところではないでしょうか。河川管理を担当する国土交通省千曲川河川事務所において、平成18年7月水害規模の洪水が再度発生した場合でも、浸水被害が発生しないよう、無堤地区解消に向け、古牧地区、笠倉地区、替佐地区などで築堤事業が進められています。

① 古牧地区 輪中堤方式により今月完成

連続堤方式の河川改修が実施されるまでには、相当の期間を要することから、経済的かつ治水効果の早期発現ができる「輪中堤方式」による土地利用一体型水防事業として、平成20年度から築堤事業が進められてきました。昨年度の経済危機対策に基づく補正予算などにより、当初完成予定より1年早く、輪中堤方式による築堤事業が今月末に完成します。



② 笠倉地区

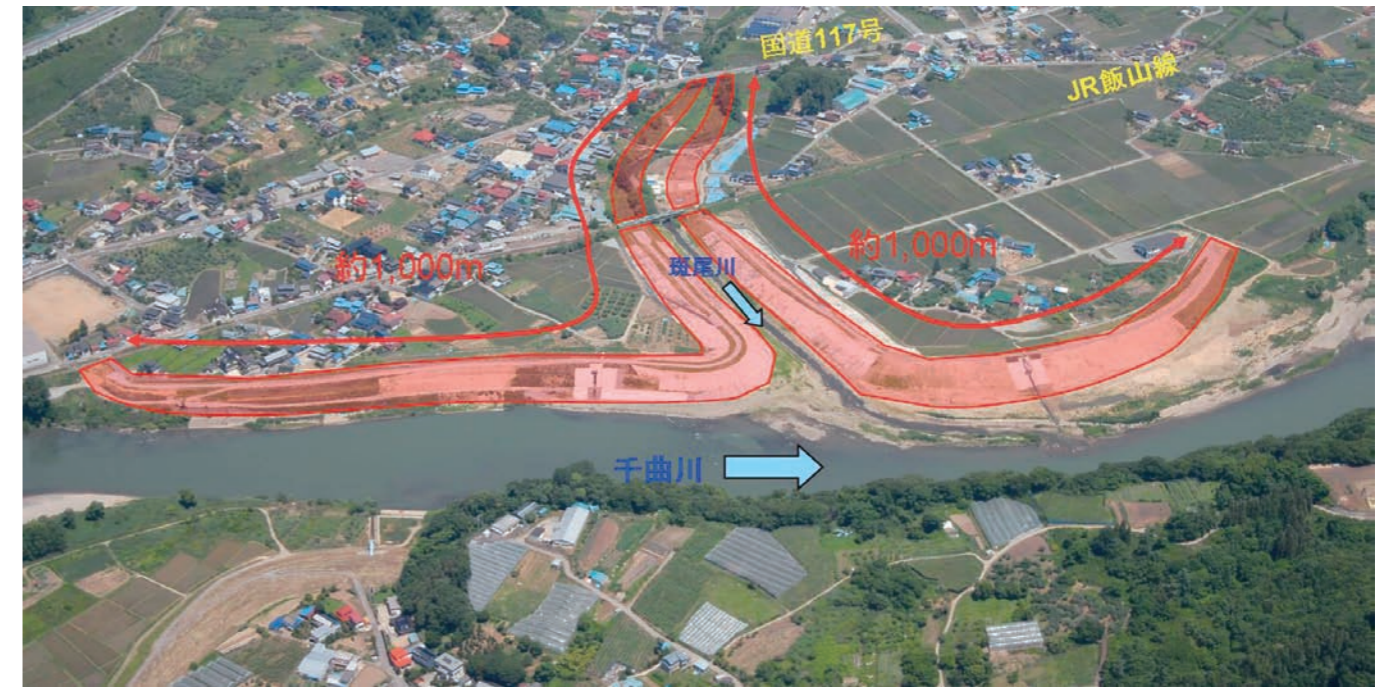
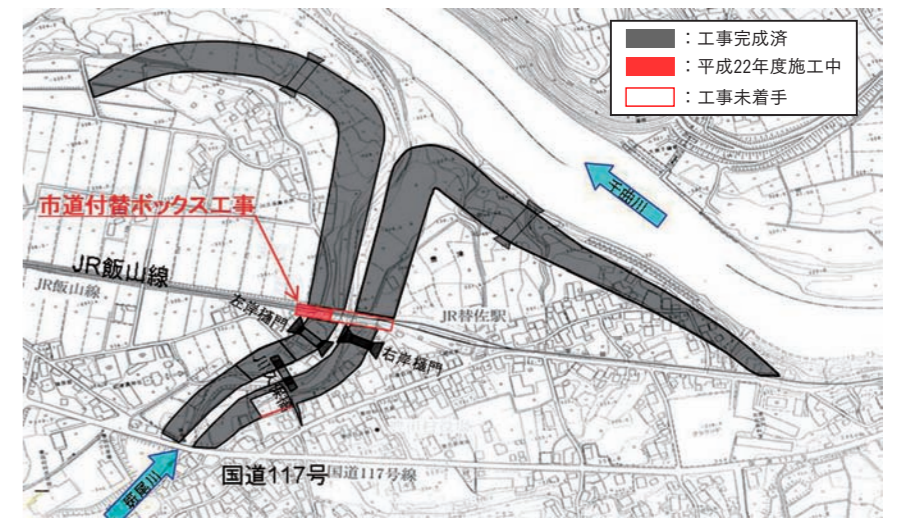
背後地に家屋が連なる地区のうち、立ヶ花下流無堤地区において、唯一事業着手されていない地区であり、洪水による浸水被害を解消するため、今年度から築堤事業に新規着手し、用地補償、上流の樋門工事および護岸工事などが進められています。



③ 替佐地区

平成10年度から築堤事業に着手し、千曲川本川部分は暫定堤防で完成しています。今後、下流で進められている笠倉地区と岩井田上地区の堤防完成とあわせ、完成堤防化が実施されていきます。

今年度は、斑尾川のJR飯山線橋梁改築に向け、市道付け替えボックス工事が進められています。



④ 岩井田上地区

現在の堤防は、計画堤防に比べ、堤防高および断面ともに小さい暫定堤防となっていることから、治水安全度を向上させるため、今年度から完成堤防化に新規着手し、用地補償などが進められています。



問い合わせ先 市役所道路河川課監理係 ☎(22)2111 (内線265)
国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所調査課 ☎026(227)9434
ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>